

(第2号様式)

宮古第 3239 号
平成31年3月19日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立宮古高等学校
校長 平良 智枝子

平成30年度県立宮古高等学校学校評議員について(報告)

平成31年1月8日付け教県第2043号により依頼のありました、みだしのことについて下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

| | | | | | | |
|-----|----|--------------------------|----|-----|----------|--------------|
| 第1回 | 日時 | 7月17日(火) 16:00~17:10 | 場所 | 校長室 | 出席 状況 | 学校評議員4名 職員5名 |
| 第2回 | 日時 | 12月19日(水) 16:00~17:00 | 場所 | 校長室 | 出席 状況 | 学校評議員4名 職員5名 |
| 第3回 | 日時 | 3月5日(水) 16:00~17:00 | 場所 | 校長室 | 出席 状況 | 学校評議員3名 職員5名 |

2 学校評議員に求めた事項

特になし

3 学校評議員の意見

- ①レビュータイムの取り組みは素晴らしい。さらに、生徒の学力向上に繋がるよう進めて欲しい。
- ②あいさつや身なりなどのマナーが良くなり、生徒の意識向上に繋がっている。
- ③子どもの貧困問題が気になる。現在は様々な奨学金が増えており、この奨学金制度などもっと利用する取り組みが必要である。
- ④SNSの使い方の講演を実施するなど、いじめ防止やトラブルに巻き込まれないよう指導を継続してほしい。

4 学校運営に反映した事項

- ①行動三原則「時をまもり・身を清め。礼を正す」を徹底させることで、あいさつや身なりなどのマナーが良くなり、生徒の意識向上に繋げることができた。
- ②教育相談等に関する共通認識を元に報告・連絡・相談の体制を強化することができた。
- ③部活動、検定・免許取得等で、生徒の活躍を表彰し、マスコミを活用した学校PRが図れた。
- ④台湾姉妹校交流やグローバルリーダーなどを通し全生徒への意識化が図れた。

5 課題その他

- ①教育相談係を中心としたスクールカウンセラーの取り組みの周知を図る。
- ②ネットいじめに関する未然防止等教育の充実および対策委員会の機能強化。
- ③学校行事などの際の駐車場の対応、学校前道路における送迎時の駐停車への対応。
- ④PTA・同窓会との協力・連携の強化。